県民会議からの提案「概要版リーフレット」を活用した普及啓発について

１　経緯・趣旨

県民からの意見を基に、県民、事業者、行政が協働して取り組むべきことをまとめた「みんなで創るバリアフリーの街づくり～県民会議からの提案～」を、より分かりやすく、手に取りやすくするため、概要版リーフレット「誰ひとり取り残さない ともに生きる社会に向けて ～バリアフリーとSDGs～」（以下、「リーフレット」と言う）を、ＷＧで検討を行い令和４年秋に作成した。

令和５年度は関係機関への周知・イベントでの配布や、リーフレットをバリアフリーに対する意識啓発に効果的に用いることができるよう、ホームページの工夫等を行ったので報告する。令和６年度は、周知をさらに進め、新たな啓発に向けた検討を行う予定である。

２　令和５年度の対応等について

（１）ホームページの工夫・充実

　　　リーフレットの周知を行うため、ＷＧで次の内容を確認しホームページへ掲載した。

ア　紙面上に解説がない場面についての解説の作成

イ　学校等で使いやすくなるよう、リーフレットの活用方法の具体例を示した「使い方のヒント」を県教育委員会在籍の小中学校教職員にも確認して作成

ウ　リーフレットに記載されている文章及びイラストの説明を追記したテキスト版作成

　　今後、しっかりと周知を進めていく。

（２）リーフレット及び県ホームページの積極的な活用について

ホームページへの掲載、関係機関への周知やイベント等での配布の他、地域へのさらなる啓発のため、県社会福祉協議会を通じて、各市町村社会福祉協議会へ送付し、リーフレットの活用及び各地区社会福祉協議会への周知依頼を行った。

今後も、県民会議の各委員にはリーフレットの周知・活用を引続きお願いしたい。

（３）紙媒体でのリーフレットの配布

リーフレットの増刷を行った。これまでの周知先（各市町村福祉のまちづくり主管課、教育委員会、社会福祉協議会等）への周知や県イベントでの配布の他、今後、次の機関にも配布・周知依頼予定

ア　土木事務所や各特定行政庁の窓口で、施設整備の際の、指定施設の事前協議の際に、参考資料として配布

イ　各保健福祉事務所の窓口への配架

ウ　県立総合教育センターでの配架

（４）SNSの活用

県地域福祉課X（旧Twitter）で定期的にリーフレットの周知を行う。

３　今後の主な検討事項について（予定）

（１）ホームページを活用した啓発に向けて（周知）

リーフレットの周知と併せて、２－（１）で充実させたホームページや、「使い方のヒント」について、前ページに記載の各関係機関(社会福祉協議会、保健福祉事務所、土木事務所等含む)・市町村・教育委員会等へ周知を行い、リーフレットの活用と理解促進を図る。

（２）「使い方のヒント」を活かした今後の展開の検討

　　２―（１）で、リーフレットの活用方法の具体例を示した「使い方のヒント」を令和５年度末に掲載しており、今後、周知を進めていく。

　　また、令和６年度以降、ミニ研修・講演等もイメージし、流れや手順の整理に向けて検討したい。なお、検討に当たっては学校での対応をイメージし教育委員会とも連携を図る。

（今後の検討イメージ）

・　45分程度のミニ研修や講演をイメージし県教育委員会の協力も得て流れ・手順整理　（令和６年度）

* 手順の周知を図るほか、可能なら「総合的な学習の時間」の授業候補として周知を行う。

（令和６年度末～令和７年度中を想定）

* + 教育委担当からは、事前相談の際に「当事者の方の話と合わせた形が有効」と意見あり。令和７年度以降に、実際に学校等へ行く機会を設ける場合は、県民会議委員等から、当事者の方にご依頼し、県職員が授業に同行する形が良いと考えている。（必要に応じて、そのための県民会議の調整部会の設置等を検討）